



秋号

No.58

平成29年10月1日発行

多賀



十月から三月の祭事暦

十月

- 神嘗祭遙拝式 十月 十七日(火)
- 献茶式 十月 二十一日(土)

十一月

- 明治祭 十一月 三日(金)
- 金峯稲荷神社例祭 十一月 八日(水)
- 大宮祭 十一月 十五日(水)
- 新嘗祭 十一月 二十三日(木)

十二月

- 御煤払式 十二月 二十日(水)
- 天長祭 十二月 二十三日(土)
- 大祓式 十二月 三十一日(日)
- 除夜祭 十二月 三十一日(日)

一月

- 歳旦祭 一月 一日(月)
- 元始祭 一月 三日(水)
- 古札焼納式 一月 十五日(月)

二月

- 節分祭 二月 三日(土)
- 紀元祭 二月 十一日(日)

三月

- 祈年祭 三月 十七日(土)
- 春季皇霊祭遙拝 三月 二十一日(水)
- 古稀延寿祭 三月 二十七日(火)

諸祭

- 御日供祭 毎日午前七時より
- 御朔日参り 元日を除く毎月朔日の午前七時より
- 月次祭 元日を除く毎月一日・十五日・二十八日



多賀大社

九月 古例祭



鳳輦を担ぐ還暦氏子

本年の頭人は当社の元宮である調宮が鎮座する多賀町栗栖より西村哲二氏がご奉仕されました。

当日は、多くの参拝者が見守る中、豊凶を占う古知古知相撲が執り行われ、祭典後は頭人を中心とした騎馬行列と氏子中が担ぐ鳳輦が絵馬通りを華やかに練り歩きました。



頭人騎馬供奉



頭人
西村 哲二
にしむら てつじ

昭和2年10月10日生（満89歳）
略歴 多賀町役場勤務
（昭和24～59年在職）
元多賀町栗栖区長
元栗栖区氏子総代



豊凶を占う古知古知相撲

講社大祭 (献幣使)

去る、九月二十八日講社大祭が斎行されました。
本年の献幣使は、三重県名張市の瀬古口・中村多賀講より富永巖氏がご奉仕されました。

栄えある講社大祭を奉仕して

名張市 瀬古口・中村多賀講

とみなが
富永 巖 いわお



この度、全国多賀講員の皆様を代表して献幣使を奉仕させて頂きました。当日は全国講員のご家族のお幸せと多賀講の弥栄をお祈りし奉仕させて頂きました。私は元より、瀬古口・中村多賀講として大変名誉なことで存じ上げます。又、ご奉仕にあたり講世話人様のご支援のもと大役を務める事が出来ましたことを有難く感謝申し上げます。

私も瀬古口・中村多賀講は四方を山々に囲まれた緑と水の恵みを受けたこの地に昭和三十八年より多賀講を発足し今に受け継いでいます。又、東には、伊勢街道、西には長谷街道としての宿場町として栄えた所で今もその面影が残されています。私も恵まれた土地に生を受け多賀大社の大神様のご守護に感謝して今後とも全国講員三万五千名の益々のご多幸ご繁栄をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせて頂きます。

供奉者ご紹介

富永義朝氏 上嶋道弘氏 有岡 崇氏
中野敬三氏 辻本善孝氏



新嘗祭 (豊年講秋季大祭)

十一月二十三日、恒例の新嘗祭が、豊年講講員よりお供えされた初穂米を積み上げて斎行されます。
本年の豊年使は、東近江市角井地区大世話人小林源嗣氏がご奉仕されます。

豊年講秋季大祭豊年使を奉仕するにあたり

豊年使

こばやし もとつぐ
小林 源嗣



この度は、豊年講員を代表し豊年使として新嘗祭をご奉仕させて頂く事になり、誠に身に余る栄誉と感謝を申し上げます。
私は、現在農業事情がきびしい中において、六ヘクタールの水田を確保し、六次産業化にともない、もち米を苗作りから収穫加工、販売までのすべての過程を行っております。

現在は、「もち源」として、お餅、赤飯、おこわ等を製造し、地元のアール・ド・フランス直売館や湖東味咲館において販売をしております。

また、収穫感謝の気持ちとし、秋の初穂米と同時に滋賀羽二重糯十袋三百キロを新嘗祭の斎行に合わせ多賀の大神様に献上をさせて頂いております。

当日は、角井地区の世話係、親族ともども恙なくご奉仕し、講員皆様のご健勝を祈念申し上げます。



多賀講と崇敬会が新たに「教化部」として一新

「教化部」新設に伴い、多賀講総本部は参集殿へ移転し、より快適に講員皆様がお参りいただけるようになりました。

多賀講総本部は、昭和四十四年以前まで現在の参集殿にありました。その当時の遺構として多賀講社門が大切に残されています。

このたび五十年ぶりに、全国多賀講の拠点として場所を元に戻し、新たな講社運営をとり進めてまいりたいと存じます。

多賀講の受付場所が変わります

今後は、参集殿玄関からお上りください。「むすびの間」にて、講金のご納付やご祈祷のお申込みなどを承ります。



◀新・受付場所



◀参集殿前多賀講社門



現在の多賀講総本部



昭和44年以前の多賀講総本部

ご家族のしあわせは多賀講から

多賀講は五百年以上も昔から、ご家族のしあわせを祈る集いとして発展してまいりました。どうぞ、皆様もこの機会に多賀講にご加入いただきまして、一層深いご神縁を結ばれながら、ご家族が日々明るく楽しい生活をお過ごしいただけることを願っています。

「講員の特典」

- ・ 毎年暮れに神札おたまをお届けします
- ・ 昇殿の上ご祈祷が受けられます

(受付は毎日九時～十六時まで)
※但し儀式等により受付できない場合があります

「教化部紹介」

教化部部长

稲毛 友幸

城 秀樹

松本 哲哉

藤村 律

富田 邦子

— 申込み・お問い合わせは教化部まで —

多賀講永年世話係表彰

今後かわらぬお力添えと、健やかにお暮らしの程お祈り申し上げます。

尚、現在登録されている就任年月日より抽出させていただきました。

不明な点などありましたら、教化部までお問合せ下さい。

就任三十年世話係

東近江市 辻野 義美
彦根市 西村 治
栗根市 寺井 光男
東近江市 一式町自治会長
米原市 多賀健之輔
宇陀市 井谷 兌
交野市 森林 芳一
篠山市 中本 薫

就任十年世話係

函館市 野路 邦英
名古屋市 徳田 吉一
名古屋市 林 澄子
蒲郡市 大竹 康俊
知多市 江端 菊和
知多市 都築 襄
大垣市 山下 正雄
大垣市 藤塚 美雪
大垣市 三輪 裕計
海津市 近藤嘉鶴彦
中津川市 吉村 和男
下呂市 二村 元浩
可児郡 田中 元規
安八郡 堀 宗之
関市 美濃羽治樹
あま市 木下 節男
東近江市 小梶 信治

東近江市 野村宗治郎
東近江市 村井 稔
彦根市 角田 淑弘
彦根市 辻 あけみ
長浜市 中村 義弘
長浜市 三輪 田三
甲賀市 奥村 眞好
甲賀市 辻 武佳
甲賀市 中島 武
甲賀市 杉本 己吉
甲賀市 高井他家治
甲賀市 望月 甚一
甲賀市 岡田耕之助
蒲生郡 尾林 保彦
東近江市 阪江 陽二
東近江市 脇 弘和
米原市 中川保太郎
長浜市 渡辺 憲雄
長浜市 草野 信一
長浜市 清水 正美
木津川市 谷原 吉弘
堺市 西野 真弘
和泉市 西本 和史
伊丹市 古田 和夫
伊丹市 後藤 泰子
篠山市 山岡 敏明
篠山市 神谷 好子
篠山市 西垣 博行

(敬称略)

多賀講新任世話係ご紹介

何卒よろしく願います。

揖斐郡 中島 保男
守山市 西村 和雄
東近江市 奥村 幸男
郡上市 田中 直實
郡上市 渡辺 義夫
郡上市 神座 孝郎
郡上市 古川 敏
郡上市 松平 和之
郡上市 杉本 重典
郡上市 藤田 和久
郡上市 井上 一郎
長浜市 大家 要造
南丹市 中野 貞一
米原市 堀居 良一
米原市 山口 義郎
米原市 西堀 治
津根市 丸山 敏雄
彦根市 片山 千秋
彦根市 田中 千秋
彦根市 伊佐地昌則
関市 山口 俊夫
関市 山口 一之
美濃市 奥村 勝己
美濃市 神谷 広子
近江八幡市 廣瀬 長司
瀬戸市 波部 新
東近江市 榎木 忠司
篠山市 日置 謙一
飯田市 清水 清司
飯田市 永橋 義弘
岸和田市 沖島 義一郎
名張市 高島 凱一
伊賀市 伊賀 市

尾鷲市 土井 繁輝
篠山市 畑 正紀
飯田市 原 数明
東近江市 奥井 和義
美濃市 猿渡 満
加茂郡 林 忠良
名古屋 加藤満喜子
長浜市 草野 保徳
愛知郡 森谷 邦夫
恵那市 市川 義和
一宮市 木村 周子
一宮市 古川 節夫
一宮市 谷川 克子
米原市 世森久美子
一宮市 村上 資廣
一宮市 秋江 三郎
木津川市 浦崎 稔
豊田市 青木 富夫
豊田市 平松 正吉
豊田市 柘植 宣彦
豊田市 加藤 栄市
豊田市 山岡 久士
豊田市 柴田 光康
豊田市 橋本 治俊
豊田市 古川 正一
豊田市 福山 廣光
豊田市 成田 美幸
豊田市 成田 和子
豊田市 倉知 郁郎
豊田市 鈴木 峰代
近江八幡市 松浦 四郎
甲賀市 青木 勝重
蒲生郡 川原 武

関多市 太田 敏彦
知多市 加藤 浩三
東近江市 久田 徳男
彦根市 柳本 佐一
蒲生郡 山田富美夫
伊賀市 稲濱 多蔵
豊田市 鈴木 邦男
甲賀市 山川 定一
長浜市 川崎 源一
中津川市 日下部 広
相楽郡 兼松 三郎
可児郡 奥田 一心
関市 長屋 一美
篠山市 桐山 進一
篠山市 村瀬 秀美
揖斐郡 成瀬 正人
揖斐郡 長柄 喜昭
揖斐郡 富田 享子
泉大津市 辻川 吉経
篠山市 寺本 勲
甲賀市 林 素也
彦根市 鹿野 豪士
彦根市 佐野次郎
蒲郡市 石田 昭一
蒲郡市 大竹 康俊
蒲郡市 壁谷 六雄
佐久市 竹花 生樹
関市 小瀬木 好
丹波市 井本 勝
可児郡 井口 茂樹
東近江市 井口 博史
東近江市 井口 正司

(敬称略)

多賀議員向けに発行していただいた別冊「多賀」は、本号より本誌に合併を致しました。

多賀大社の神仏習合と神仏分離 Ⅱ

前回より、明治時代までの多賀大社における神仏習合と、それ以降の神仏分離について皇學館大学副学長 河野訓教授より寄稿を頂いております。

一 多賀社の四院

中世には多賀社も日本の他の神社同様、神仏習合の様相を呈するようになり、仏教勢力は年を追って勢力を得、とりわけ不動院が大きな力をもつようになった。

不動院の下には観音院・般若院・成就院の三院があり、神宮寺として法要を行った。



写真① 「宿坊不動院」の銘がある常夜灯

皇學館大学副学長
河野 訓 (かわの さとし)
昭和三十二年宮崎県生まれ。
東京大学大学院修了後、文化庁
宗務課を経て皇學館大学教授。
現在、同大学副学長。

観音院は補陀落山慈雲寺観音院と称し、寺伝では聖徳太子の草創とされ、後に天台宗となった。本社の境内にあり、境内の日向社の別当寺でもあった。般若院と成就院は、もとは近くにあった敏満寺の塔頭である。敏満寺は現在の名神多賀サービスエリア付近にあった天台宗の寺院で、永禄五(二五六二)年に浅井長政に攻撃され、その堂宇のほとんどが炎上・焼失した。さらに、延暦寺焼討ちの翌年、元亀三(一五七二)年には織田信長の焼討ちにより壊滅した。これにより敏満寺の堂舎僧房が悉く退転し、般若院と成就院の両院は多賀所在の別坊へ引移り、社僧となり明治維新まで社役を勤めた。このうち般若院は神社の神前札場を支配し、大社参詣の群衆に御札・牛王等を授与した。不動院は第三世祐桓の頃、すなわち天正十一(慶長三(一五八三)一五九八)年の頃には別当としての地位を確固なものとし、豊臣秀吉の威光のもとで興隆した。豊臣秀吉の崇敬は篤く、天正十六(二五八八)年、秀吉は母大政所の病氣に際し、多賀社に平癒を祈願した。六月二十日付の秀吉の祈

願文には



写真② 石灯笼の銘「宿坊 別当 不動院」

尚以て、命の儀、三カ年、然らずんば二年、
實々ならずんば三十日ニても、延命に候ふ様ニ、
頼み思し召され候。今度大政所殿煩ひ、本復に
おいては、一万石奉加として申し付くべく候ふ
条、祈念專一にて候ふなり。

(『多賀大社叢書』文書篇)

とあり、母の延命がかない、米一万石を寄進した。境内の石造の太鼓橋はこのときの奉加(寄進)によって造られたといわれているが、寛永十五(一六三八)年に再建されたものである。文禄五(一五九六)年三月、不動院は本願として造営に奔走し、伽藍建ての堂宇とした。更に不動院は徳川時代に入ると、徳川家康・家光の庇護によって多大な力をもつようになり、多賀社を支配した。



写真③ 般若院跡

二 江戸時代の災厄と造営

寛永年間には不動院五世の慈性が指揮し、経費・規模ともに未曾有の大造営が行われた。寛永十(一六三三)年に將軍家光から造営の許可が下り、同十一年に手斧始、十五年には本殿の落慶法要が行われた。造営のための経費として約三十万両が費やされている。

元禄年間にも再び幕府直轄の修復の造営が行われ、同十二年(一六九九)に竣工した。

しかし、安永二(一七七三)年の大火により諸社殿、各坊が焼失し、烏有に帰した。『多賀観音院古記録』には「安永二巳四月御祭礼ノ日、本社、諸堂社、不動院、般若院、観音院迄炎上之事」と記されている。不動院はすぐに仮殿を建立し、勧化のための富籤の興行を幕府に願ひ出ている。翌三年には大書院、奥書院などが再建された。

その後も天明二(一七八二)年に社内で火災、寛政三(一七九一)年には台風の被害があり、寛政十一年には勧化御免の許しを得、文化五年(一八〇八)には上棟し、同九年は正遷宮が成し遂げられた。



写真④ 多賀参詣曼荼羅 本殿部分
内院の左奥に先食台が見える。
(多賀大社蔵、古本)

三 多賀大社の神仏習合

多賀大社には梵鐘が吊るされている鐘楼がある。この梵鐘は天文二十四(一五五五)年、不動院初代別当の祐尊の勧進により、浅井長政や佐々木氏らによって寄進されたものである。寺院である不動院にとって梵鐘は何の違和感もないが、今となつては多賀大社のかつての神仏習合の名残といえる。

このほか、大鳥居を入つて右手には「不動院」と刻まれた常夜灯(写真①)があり、御社殿から日向社に向かう道にも不動院の銘のある石灯籠(写真②)がある。このあたりはかつて不動院や般若院(写真③)のあったあたりで、境内の神仏習合の様子は多賀参詣曼荼羅にもよく描き出されている。

多賀参詣曼荼羅は現在三本が伝えられており、描かれている境内の様子などから秀吉の奉加以降のもの(多賀大社所蔵・古本)と寛永の御造営以後のもの(同・新本)及びサントリ美術館所蔵のものである。建築物としては本殿(写真④)の左に不動院、般若院と続く。多賀大社所蔵の両本には本地堂と鐘楼が大きく描かれ(写真⑤)、さらに古本では日向社の左に観音院、御手洗川の対岸に成就院が描かれる。



写真⑤ 多賀参詣曼荼羅
上部左から日向社・般若院・不動院、下部中央に鐘楼・本地堂など。
(多賀大社蔵、新本)

ている(写真⑥)。また、新本では多賀社本殿に僧侶に経箱を渡す多賀大明神が描かれ、境内にも多くの僧侶(供僧)が描かれている。多賀大社も他の社寺にたがわず、江戸時代までは社殿と別当寺院などが同居する様子を呈していたことが伺える。

本殿裏手には先食台(棚)が描かれている。神饌を神様に御供えする前に烏(先食さん)に食べさせるための台であるが、これは施食台であつて、仏教寺院に見られる生食台(餓鬼・鬼子母神に備える生飯を置く台)と関わりがありそうである。

多賀大社には時宗第二世他阿上人が奉納したという御正体(江戸時代のものらしい)や多賀大神と阿弥陀三尊が描かれた多賀曼荼羅(写真⑦)など本地垂迹説にもとづく神仏習合の遺品が今も所蔵されている。



写真⑥ 多賀参詣曼荼羅
日向社の左に観音院、手前に成就院。
(多賀大社蔵、古本)



写真⑦ 多賀曼荼羅
手前に多賀大神、後ろに阿弥陀三尊を描く。

多賀の杜

一昨年より多賀の杜整備事業を進めて
おります。

これまでに、危険木の伐採を始め、木々の
成長に伴う玉垣、石垣の損傷修復保全
や、金咲稲荷神社の参道拡張工事などが
施されました。

また、「寿命石」の傍には、ゆかり深
い柏の木を植栽、季節の花を境内に配置
するなど、景観整備も併せて行っており
ます。

今後も、心安らぎ、清々しい気持ちで
ご参拝頂けるよう整備事業を進めてまい
りますのでご理解とご協力の程お願い致
します。



修繕前の玉垣



修繕後の玉垣



季節の花を設置

境内紹介

6

天満神社（てんまんじんじや）



北野天満宮・大宰府天満宮と同
じ学問の神様である、菅原道真公
を祀る当社の末社。
昨年より紅白の梅の木を植樹、
絵馬掛けの新設など境内整備が進
められた。
近年合格祈願絵馬には、高校、
大学の合格のみならず、各種資格
試験合格の願いもあり、幅広い世
代からの参拝が絶えません。

観月祭 献詠献句

短歌特選

月まろき

多賀の社に 笛の止み

四方の闇より

ちちろの鳴くも

彦根市 河分 武士

山陰の 天高き空ゆこうのと

わが里に下りる

縁の不可思議

長浜市 木村 諄子

俳句特選

コンビニと

二階の塾の 夜長の灯

彦根市 細田恵貢子

多賀の宮

巫女になる子と 月を待つ

野洲市 宮田絵衣子



むすびの印

縁結び、恋愛成就のご利益で名高いお多賀さんの新たな朱印として、この度「縁むすび印」「恋むすび印」が誕生しました。

当社の朱印と合せ是非お受け下さい。

初穂料 各三〇〇円



縁むすび印



恋むすび印

ベビールームを新設しました



「授乳室はありますか?」「おむつを交換する場所がありますか?」様々な、お母さん方の声にお応えし、この度、ご祈祷待合所にベビールームを新設しました。初宮や七五三の折々にお気軽にご利用頂ければ幸いです。

そば処『寿命そば』が今、評判です

絵馬殿にてお馴染みのお多賀さん名物『寿命そば』が新しくなりました。

去る六月一日からスタッフとメニューが一新され、「おいしくなった」「お参りの楽しみが増えた」と早くも評判です。

ご参拝の節にはぜひご賞味下さい。



車いす奉納



平成二十七年に馬頭人を奉仕された彦根市の西川傳一氏より、車いす五台が奉納されました。

今後はより多くの参拝者が不自由なくお参り頂けるよう利用させて頂きます。

義捐金御礼

平成二十九年七月九州北部豪雨に対し、当社でも社頭で募金をお願い申し上げました。お寄せいただきました十五万円の義捐金は、多賀町を通じて被災地へお届けさせて頂きました。皆様の温かいお気持ちに感謝申し上げますと共に、被災地の早期復興を祈念申し上げます。

万灯祭ご献灯

ありがとうございます

本年も、全国各地から多くの方のご献灯を頂き、盛大に万灯祭が執り行われました。
 本号より紙面の関係上、二万円以上のご献灯者名のみ掲載となりますことお許し下さい。
 なお、戒名は申込者名で、連名は代表者名で掲載しております。
 (順不同・敬称略)

―十五灯―

滋賀県

多賀町

多賀大社 節分会

―五灯―

滋賀県

彦根市

(株)平和堂

滋賀トヨタ自動車(株)
 ネットトヨタ滋賀(株)

愛知県

山本 守男

―三灯―

滋賀県

多賀町

多賀大社 頭人会

大阪府
 (株)コーニッシュ

―二灯―

滋賀県

多賀町

(株)多賀組

多賀大社 節分会 幹事会
 多賀門前町共栄会

大津市

瀬川 勝規

彦根市

彦根露店組合

(株)伊藤組

近江鉄道(株)

石川 豊

中川 忠幸

大阪府

大阪誠照会

―一灯―

滋賀県

多賀町

(株)ミヤジマ

参天製薬(株)

四手氏子中

(有)多賀や

(株)延寿堂

(有)藤居製作所

犬上 岳

寿命そば 渡辺元治

多賀観光協会

多賀大社 氏子総代会

多賀大社 末広会

愛荘町

近江印刷(株)

山縣 和子

近江八幡市

(株)たねや

大津市

杉岡 久江

杉岡 拓弥

草津市

村岡通信建設(株)

太田酒造(株)

甲賀市

(有)デイサービスひまわりの家

奥村 眞好

甲良町

(株)一休庵

山本 昇

(株)ファーストシステム

豊郷町

西山 重治

長浜市

寺村 正和

森 銓太郎

(株)かわ重

藤居 大暉

改田 一夫

柏寿会南郷里支部

大塚誠次郎

東近江市

平岩 勝

SCREEN枚葉技術二課

小寺 康之

脇 正己

古田善子郎

小池会

田中 茂樹

彦根市

川瀬計理事務所

大平ミチエ

田中電気設備管理事務所

(有)伊藤金属

(株)ノセヨ

田中商事(株)

西川 傳一

(株)清水鐵工所

山甚開発(株)

伊藤石材店

木川 英樹

(株)公益社

(株)西澤工務店

(株)フタバ彦根店

藤村 紀子

小財 好子

中村善一郎

三輪 和宏

一圓テクノス(株)

(株)文教スタヂオ

矢吹 敏明

共同電気(株)

北村 昌造

(株)永昌堂印刷

(株)イズミ

フジテック(株)

(株)雅コーポレーション

楠堀 治一

(株)田中家石材

川分 善孝

(有)オフィスタニザワ

(株)伊勢幾

医療法人 友仁会

米原市

中川 満雄

三軌工業(株)

小倉 文吉

栗東市

(株)アチーブメント

群馬県

古澤 英彦

埼玉県

武藤 博昭

東京都

今井 純子

神奈川県

桑原 栄一

石川県

水野 美帆

福井県

寺島進一郎

(株)武村鐵工所

長野県

松葉 節子

飯島 一成

松葉 和嗣

岐阜県

大橋 信男

(株)陣屋工業

酒井 満生

北岡 米一

伊藤 貞男

藤田 三蔵

(株)松井組

今井 榮子

田中 敬二

駒井 均

櫻井 鉦三

桐山 勝司

静岡県

高橋 正吉

愛知県

(有)ヤツルギ自動車

山本 孝男

井本 尚樹

高見 勝俊

鷺見 幸治

石田 三郎

小澤 素生

田村 公平

前橋 保彦

尾見 昌宏

後藤 鎮子

坂野 絢子

永一産商(株)

深谷 実敬

清原 徳幸

熊谷百合子

岩瀬 仁紀

市原 久子

(株)大智建設

太田 勝

神谷 高雄

杉崎 文彦

牧野 錦司

磯部加代子

平野 正治

岩田 光正

三重県

丸山音治郎

葛巻 錠治

藤井 保之

安濃建設(株)

梅田 修造

京都府

東和泰産(株)

北村 幸信

西出 浩

神谷 優子

大阪府

田中 勝正

ダイワ工業(株)

江島 史朗

井伊みちよ

中嶋 博子

曾根崎義基

ハクキンカイロ(株)

サントリーホールディングス(株)

池邊真也子

兵庫県

清水 巖

山形 直樹

岡山県

瀬崎(株)

愛媛県

(株)聖高

長崎県

秋山 照代

多賀大社 七五三記念パック 25,000円(税込) 6,200円お得に

祈祷+衣装+写真
通常31,200円

※本殿祈祷は追加5,000円にて
※パック対応はお一人につき

平日はもっとお得に

ヘアメイク+フォトキーホルダーが
3,000円相当 2,500円相当
サービス!

※11/12~20は対象外となります



期間
平成29年10月1日~11月30日
要予約
問合せ
0120-43-6160 (9:00~16:30)

参集殿からのご案内



挙式・披露宴承り中



撮影スポットとしても最適!

広い境内や神聖な杜
国の名勝である
お庭を望むロケーションは

縁結びの神様に誓う
厳やかな結婚式

祝 七五三、お宮まいり 完全予約制

お子様の健やかな成長をお祝いして
お多賀さんで
お祝いの食事会...

10月・11月の期間中、特別プランをご用意いたしました。
記念写真・レンタル衣装のご予約も承っております。

お問い合わせ

0749-48-1103 (参集殿直通)

※完全予約制(年中無休)詳しくは
ホームページをご覧ください。



会席膳 5,400円~



お子様料理 1,620円~



松華堂 3,240円~



御食初膳 3,240円~

※写真はイメージです。

※別途・サービス料を頂きます。

多賀大社参集殿

検索

来年の戌戌（つちのえいぬ）は、

植物の成長が絶頂期を迎え

それを刈り取り収穫する事を意味します。

皆様が良い結果を収穫でき

良い年となりますようお祈り申し上げます。

初詣はお多賀さんへ

守護矢

首振りえと張子

えと張子

ふく竹

えと鈴

えと鈴	¥800	ふく竹	¥1,000
えと張子	¥800	熊手（特大）	¥10,000
首振りえと張子	¥1,000	熊手（大）	¥5,000
鎬矢	¥2,000	熊手（中）	¥3,000
守護矢	¥1,000	熊手（小）	¥1,000

人事

六月一日より職員人事が左記の通り一新されました

（祭儀部）

部長

権禰宜 木村 克之
権禰宜 大宮 修身
権禰宜 奥 隆栄
〃 森 智宏
〃 辻 雅史

（経理部）

部長

権禰宜 川原 隆司
〃 藤野 功
〃 瀧澤 憲興
事務員 前川 昌子

（総務部）

部長

権禰宜 中嶋 知也
権禰宜 宮澤 知生

（庶務部）

部長

権禰宜 三木 治夫
権禰宜 古野 宗俊
〃 西臺 卓哉
事務員 江畑ひろみ

（教化部）

部長

権禰宜 稲毛 友幸
権禰宜 城 秀樹
〃 松本 哲哉
〃 藤村 律
事務員 富田 邦子

（参集殿部）

部長

権宮司 片岡 秀和
権禰宜 龍見 将弘
〃 野上 浩司
〃 大菅 貴裕
事務員 堀居奈津美
〃 布施 春奈

採用

【舞女兼事務員】

岸邊 美羽
(平成二十九年三月十五日付)

退職

【舞女兼事務員】西澤 恵理

(平成二十九年三月三十日付)

【舞女兼事務員】北村 真希

(平成二十九年三月三十日付)

【舞女兼事務員】南 亜依

(平成二十九年三月三十日付)

編集後記

大河ドラマ『おんな城主 直虎』で注目されている彦根藩井伊家は当社とゆかり深く、江戸期の造営事業においても相当の修復費用を奉納されたと記録に残っております。

現在も七代目藩主井伊直該公が寄進した、青銅の灯笼二対が拝殿前に残っており、井伊家の崇敬を今に伝えています。

